

❖ 科目名 Course Title			
生態学（豊かな農畜産環境の理解のために）[ECOLOGY]			
❖ 担当教員 Instructor			
熊野 了州 [KUMANO Norikuni]			
❖ 開講学期 Semester	前期	❖ 対象学年 Year	2～
❖ 履修可能人数 Capacity	20	❖ 単位数 Number of Credits	2
❖ 授業形態 Type of Class	講義		

❖ キーワード Key Words	
進化、適応、行動、個体群、群集、多様性、生態系	
❖ 授業の目的 Course Objectives	
❖ 授業概要 Course Description	
自然選択による進化を通して生物の生活や行動が適応により形成されることを述べる。次に生物の生活や行動の適応が、個体間関係を通じて生物集団の動態と群集の構造を規定することを述べ、さらに生物生産の場である生態系について生態系間の関わりも含めてふれる。	
❖ 到達目標 Course Goals	
「外来種を含む昆虫や動植物の管理と防除」「土地管理計画」などと生態学を関連付けることができ、生態系を複合的に捉えることができるようになる。	
❖ 授業計画 Course Schedule	
<ol style="list-style-type: none"> 1) 生態学とは、生物と環境 2) 進化と適応度、自然選択 3) 適応度の拡張 4) トレードオフ 5) 寿命と生活史 6) 行動生態学・個体群生態学の基礎 7) 個体群 8) 性比 9) 採餌戦略 10) 捕食回避 11) 群集生態学の基礎 12) 群集の尺度 13) 生物群集と環境との関係 14) 景観と生物の関わり 15) 景観の構造と時空間変化 16) 試験 	
❖ 成績評価 Grading System	
出席・授業態度、レポート、試験等による総合評価	
❖ テキスト Textbooks	
教科書は使わない。適宜資料を配付。	
❖ 参考書 Reading List	
生態学入門 第2版(日本生態学会), 生き物をめぐる4つの「なぜ」(集英社), 群集生態学(宮下直・東京大学出版会), 生き物の進化ゲーム—進化生態学最前線: 生物の不思議を解く— 大改訂版(酒井 聡樹ら・共立出版)	

❖ 準備学習 Homework
❖ オフィスアワー Office Hour
講義終了時より1時間
❖ 連絡先 (E-mail) E-mail
nrkumano@obihiro.ac.jp
❖ 質問・相談への対応方法 Contact Information
❖ 履修上の注意 Notes
高校生物の進化に関する部分を復習しておく。
❖ 備考 Other Information

※「対象学年」と「単位数」は、科目提供大学における数字であり、受講大学に応じて異なるので、所属大学で確認してください。

※「履修可能人数」は、科目提供大学以外の人数であり、遠隔と対面それぞれの受講形態で履修できる人数を示しています。(例.5(遠隔), 5(対面):遠隔授業で5名, 対面授業で5名まで履修可能。)

※北海道大学の対面授業は、教室の収容人数によって履修できない場合があります。